

事業実施報告書

法人名	特定非営利活動法人あいアイ
活動名	障害者の描いた絵画作品を使った持続的な自立支援活動
助成事業の種類	自立促進活動助成
	豊かさ分野
事業の目的	
<p>障害者(特に知的障害者)は芸術分野で特異な感性もっていますが、その個性あふれる才能を社会生活の中で生かしてはけません。</p> <p>今回の活動を通じ障害者アーティストのことを知ってもらい単なる支援ではない自助努力をともなうサステナブル(多様性)社会の実現を目指します。</p> <p>1. 障害者が芸術分野で生まれ持った能力を生かし、自分に自信をもって暮らせる地域社会を目指す。(精神面の安定)</p> <p>2. 障害者アーティストが自らが創作した作品の収益により安定した収入を得て、経済的に自立して暮らせる社会の実現を目指す。(経済的な自立)</p>	
事業で取り組んだ地域や社会の課題	
<p>1. 障害をともなったアーティストが持っている特異な感性や能力について一般の人に知ってもらう機会がほとんどない。</p> <p>2. 障害者が自らが創作した作品から対価を得て経済的な自立につなげるようなサイクルや社会の仕組みが構築されていない。</p> <p>3. 一方通行の支援ではなく、障害者アーティストと支援企業の双方にメリットをもたらすような持続可能な仕組みが必要であり作りたい。</p> <p>4. ヒアリングによると絵画などの制作を主としたB型作業所の工賃は全国平均の作業工賃と比べて少額で改善したい。</p> <p>5. アート作品はパンや野菜など日常的に消費される商品ではない。このため継続した収益化が難しく新たな需要の開拓が必要である。</p>	
取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	
<p>1. 障害者アーティストの経済的自立のために継続した収入を確保するため下記の事業についてWEB広告を実施した。</p> <p>①主に企業団体向けに障害者のアート作品をレンタルする事業(作品レンタル事業)</p> <p>②同じく来客に提供する飲料ペットボトルに障害者アートを活用する事業(アート富士山水事業)</p> <p>2. WEB広告の実績は、7月～10月末までの約4か月間で、表示回数:28,447回、クリック数:1,811回、クリック率は6.4%であった。</p> <p>3. 検索数やクリック率などの実績を踏まえホームページが検索にヒットしやすいよう改善した。</p> <p>【従事したスタッフ数】 絵画制作(障害者14名) WEB広告・営業スタッフ(10名) ※WEB広告閲覧者数(1,811人:クリック数)</p>	
事業実施により達成した成果の具体的な内容	
<p>1. 成果の具体的な内容としては①作品レンタル事業が月額10,000円コースを1件(期中計上実績7万円)、②アート富士山水事業はゼロという結果となった。</p> <p>ただ、大手旅行会社のグループより全国のホテル向けに作品レンタル事業やアート富士山水事業に好感触を得られており商談を継続している。</p> <p>2. 作品レンタル事業の事業期間内での実績は7か月で70,000円であるも、来年度以降も継続した契約が見込まれるため費用対効果は高い。</p> <p>今回受注できた企業は10店舗以上展開しており追加のオーダーが期待できる。</p> <p>また、昨年受注した企業の継続契約も決まり永続的な拡大が期待できる事業であると感じている。</p>	

費用面での工夫
1. 活動及び商品告知には費用の掛からないSNSもGoogle広告と並行して活用した。
2. 埼玉県庁、東京都庁の記者クラブの投げ込み(無料のプレスリリース)を活用し費用をかけない告知も実施した。
3. 製作物はボランティアや協力団体、協力企業に依頼し費用面の抑制に努めた。
地域社会への還元
1. 一人でも多くの障害をもったアーティストに経済的自立をもたらすよう今回の助成金で開発できた商品を広めて行きたい。
2. 需要が確認できれば障害者の通う作業に新たな活動商品として紹介しともに作業工賃の向上に貢献して行きたい。
3. 今回の収益還元では全く足りておらず、得られた収益を障害を持ったアーティストに継続的に還元する仕組みの構築に貢献して行きたい。
今後どのように事業を継続し発展させるか
1. 経済的自立のためには継続した支援が不可欠で今回開発した商品はまさにピッタリの商品と言える。
2. 今回実施したWEB広告により1件受注するためのコストが概ね算出できた。
また、Google for Nonprofits(非営利団体向け支援プログラム)が活用できる事がわかった。今後はこのプログラムを活用し広告費用をかけず集客して行きたい。
3. 当WEBサイトは障害者アートというワードを避けてきた。そのため企業ニーズと検索ヒット率に乖離があることが分かった。
今後は支援に必要な取り組みは合理的判断のもと実施することで事業の拡大を目指して行きたい。

事業収支計算書

法人名 特定非営利活動法人あいアイ

1 収入の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
助成金	500,000	500,000	0	
自己資金	38,156	82,786	44,630	
活動実施による収入等	136,560	92,284	△ 44,276	
その他	0	0	0	
収入の部 合計	674,716	675,070	354	

2 支出の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
会場費		0	0	
通信運搬費	42,000	42,000	0	
旅費交通費		0	0	
消耗品費	154,080	154,570	490	
備品費		0	0	
委託費	440,000	478,500	38,500	
謝金		0	0	
人件費		0	0	
その他	38,636	0	△ 38,636	
支出の部 合計	674,716	675,070	354	